

# 周年放牧利用が可能な草地の開発

長崎県畜産試験場

バヒアグラス草地にイタリアンライグラスを追播することで、冬期から春にかけても放牧可能となる。

同一草地で放牧することにより、土地の有効活用を図ることができる。

## 目的

既存のバヒアグラス草地にイタリアンライグラスを追播することにより、1つの圃場で周年的な放牧技術を開発し、低コスト畜産経営を目指す。

## 具体的な実施方法

夏期はバヒアグラスによる放牧を行い、10月中～下旬にかけてイタリアンライグラスをリノベータの活用やシードペレット等により追播し、冬期も放牧を行う。



リノベータによるイタリアンライグラスの追播



バヒア草地からイタリアンが生育



冬期もバヒア草地で放牧が可能